

## 日本岩石鋳物特殊技術研究会のホームページ開設

大和田 朗・佐藤 卓見（産総研 地質標本館）

2011年12月9日に日本岩石鋳物特殊技術研究会のホームページが開設されました。この研究会は、1956年に全国の薄片、研磨片の作製に携わる技術者が、技術革新を図る上で、個々の培ってきた能力や創意工夫を発表できる組織の必要性を、当時の大学の薄片技術者や地質調査所（現産総研地質調査総合センター）の大野正一氏らの諸先輩が唱えたことが始まりです。その働きかけにより、全国の大学を中心に薄片、研磨片の作製を主とする技術者探しが始まり、1958年7月、第1回「全国薄片製作技術者打ち合せ会」が川崎市溝の口の地質調査所において開催されました。第1回の会合には全国より28名が参加し、組織の名称や規約の制定が行われ、「日本岩石鋳物特殊技術研究会」が誕生し、最盛期の1973年には63名の会員が在籍していました。研究会発足以来半世紀が経った現在においても、研究発表討論会が巡回制により毎年開催されています。現在の会員数は発足当時と同数の28名ですが、今後も地球

科学分野はもとより関連領域において必要不可欠な顕微鏡観察用の岩石薄片、研磨片作製の高度な技術力が期待されています。

2012年、第54回の研究会は、昨年の震災で持ち越したとなった産総研(つくば市)が30年ぶりの会場となります。開催会場として研究会を盛り上げるべく準備中です。産総研地質調査総合センターの職員の方々にもご協力をお願いする次第です。

ホームページには、岩石薄片の作製工程を版画で解説したり、岩石薄片の写真はもちろん、ギャラリーとして地質標本館で展示中の石で削った昆虫の写真が閲覧できるなどの工夫をしています。ぜひ一度このホームページを閲覧いただき、多くの方々に薄片・研磨片の作製に関心をもっていただければ幸いです。

URL <http://epms.es.tohoku.ac.jp/ngtk/>

